

第 31 回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第 31 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成 31 年 1 月 24 日（木）午後 2 時～3 時 22 分
場 所	高円寺中学校 多目的室
出 席 者	懇談会委員 25 名（欠席 3 名）
傍 聴 者	1 名
次 第	1 標準服について 2 通学区域について 3 その他
資 料	資料 1 第 4 回及び第 5 回標準服検討委員会会議録（要旨） 資料 2 （仮称）高円寺学園の通学区域の指定等について 参考資料 （仮称）高円寺学園の校名表示

会長	<p>皆さんこんにちは。新しい年を迎えて最初の回ということで、明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、ただいまから第 31 回目になりました高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開催いたします。まだお見えになっていない委員さん方もいらっしゃるのですが、時間になりましたので、スタートということで行きたいと思います。</p> <p>また、本日は 3 人の委員から欠席連絡をいただいています。</p> <p>また、本日は傍聴を希望した方がいらっしゃいますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>（配付資料確認）</p> <p>それでは、次第に沿って進めていきたいと思います。</p> <p>最初に次第 1 「標準服について」です。昨年の 12 月 18 日と 1 月 8 日に第 4 回目、それから第 5 回目となります標準服検討部会を開催いたしました。</p> <p>ここに至るまで、新校の標準服についてはどういう形がいいのだろうかということで、委員さん方と検討した結果、中学生には標準服を準備しようということになりました。それから、それにふさわしい仕様はどんなものだろうかということで、委員さん方の意見をいただきながら仕様を決めました。</p>
----	--

そして、学校や教育委員会に来ていただいていた制服メーカーの方に声をかけさせていただいて、提案をお願いしました。出された企画書を見せていただいて、企画書を出された会社の中で4つの会社にプレゼンテーションをお願いしました。そのプレゼンテーションを行ったのが12月18日の第4回標準服検討部会になります。

資料の第4回標準服検討部会会議録を基に簡単にご説明していきたいと思えます。

当日は、9人の委員さん方にお集まりいただきまして、4つの会社からのプレゼンテーションを聞かせていただきました。

最初に株式会社トンボでございますが、出た質問等につきましては、「中学生と高校生の違いについて。」それから、「汚れが落ちる生地はどのくらい洗濯しても大丈夫なのでしょうか。また、しわにならないのか。洗濯に耐えるか」というようなところでございました。

この会社は高円寺フェスにも来ていただいて、街頭での調査等も行った上でのプレゼンテーションだったのですが、回答が多かったカラーを重視したというところでございます。

また、その他、夏服については、ポロシャツであるとか、乾きやすい素材であるとか、人気の高かったセーラー服と関連させたデザインであるとかを提案していただき、幾つかのご質問等をいただきました。

残りの3社でございます。A社についてですが、こちらはアフターフォローや販売店、それから抗菌・抗ウイルスというところの素材など、工夫がされているようです。ボタンの数等についても、今後の相談が可能ということでした。

それから、校章などの刺繍を入れた場合の経費の件であるとか、そんなことについても質問が出ました。

B社についてですが、スカートとスラックスの生地の違い、それから生地についてのいろいろな要望にも応えていきたいということでした。また、スカート丈を伸ばしても柄が変わらない工夫があるというところ。どの体形の人が着ても柄を合わせることができる設計をしてあるとのことでした。

あとは、身長が伸びた場合の対応についてや、セーラー服をイメージしたデザインである、というような話が出ました。

C社についてですが、スカートのプリーツ、ひだのところですが、アイロンをかけなくともしっかりしているということ。また、現在、コード服装という会社が高円寺中学校の標準服の販売店なのですが、引き続き、そこで対応ができるということ。成長に伴う直しについても無料で対応していくということ。スラックスにはストレッチ性のある生地を使用しておらず、柄物はストレッチを入れられないということ。ジャケットの裏側の内ポケットの型についてなどの話がでました。

プレゼンテーション終了後、委員の皆さんからご意見を伺いました。皆さんの意見で決めていくということが統一した方向性でございました。

今回来ていただいた4社でございますが、どこの会社に頼んでも新しい高円寺学園の標準服をつくるには十分、力のある会社であるというところを感じました。あとは、素材についても抗菌であったり、非常に伸縮性があつたり、非常に着やすかつたり、どの会社も家での洗濯ができるというようなところもありまして、なかなかその場でお願いする業者さんを決めるのは難しいところがございます。

本来であれば、その場で担当してくださる業者さんを決めたかったのですが、なかなか委員の意見もまとまりにくいところがございます。そこで、企画書等をお持ち帰りいただいた上で、冬休みいっぱいをそれぞれ検討していただいて、1月にもう1回、検討部会を開こうというところで、第4回標準服検討部会は終わりました。

1月8日に第5回標準服検討部会を行いました。その日は業者さんにはおいでいただかずに、委員さん方で企画書、それから各業者さんが置いていかれた見本を見たり、着てみながら、検討をしていただきました。

ここでは、トンボはオレンジ色のカラーが温かい感じがする、デザインが奇抜過ぎない、ストレッチがよく動きやすい、着こなせる体形の幅が広い、水をはじく素材がよいというご意見を頂戴しました。

次にA社は、中学校の標準服にしては若干大人っぽくないかとか、生地が固いのではないかと。

B社についてはポケットの位置などが考えられている。セーラー服をイメージしたデザインというのもあって、こういうところも非常に好評でございました。

C社は軽くて着やすい。また、格好いいという指摘もございました。

委員の皆様方と協議させていただいた結果、株式会社トンボを新標準服の制作メーカーとして、検討部会のほうで決定させていただきました。

今後ですが、トンボさんといろいろ相談をしながら、提案にあった動きやすい生地の素材を使ってほしいということと、夏服はポロシャツ、セーラータイプ、選べるようにしてほしいというご希望も委員さんのほうからいただいております。こういうところも鑑みながらトンボさんとは相談をしていきたいと思っています。

あとは、記載にある通り、要望も多数ございまして、オレンジ色については好き嫌いが分かれるのではないかとということや、リボンの大きさ、リボンかネクタイかという議論、ボタンの数、スカートの色、女子用のズボン、などの要望をいただきました。

また、夏服と冬服のデザイン、着やすいブレザータイプがいい、茶色というかゴールド系の入った温かい色合いがいい、セーラー服の要素を残したらいい、以上のような意見を踏まえて、相談していければと思っております。

今年度中にはこの辺りを含めてトンボさんと打ち合わせを行った後、委員さん方にまた2回程度おいでいただいて、デザインの検討等をしていきたいなど

	<p>考えております。</p> <p>今、経過についてご説明させていただきました。このあとはトンボさんのほうからご説明いただけますでしょうか。お願いいたします。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>その前に1つ補足いたします。</p> <p>本日は、部会でご提案いただいた標準服案をトンボの方にご説明いただきます。</p> <p>今日は、このデザインというのはあくまでもトンボさんからご提案いただいたもので、これで高円寺学園の標準服と決定ということではありませんので、1つの案として見ていただければと思います。</p> <p>トンボさんにお話しいただいた後に、皆様からご意見、例えば色はこういう方がいいですとか、デザインはこういうのがいいですとか、そういったご意見を伺いたいと思いますので、その旨ご了解の上、お話を聞いていただければと思います。</p> <p>本日は株式会社トンボ、企画提案部企画提案課の方にお越しいただきました。よろしく申し上げます。</p>
<p>トンボ</p>	<p>貴重な時間をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今日、ここに2タイプ出てございますが、高円寺学園様の最終の標準服というわけではございません。あくまでも会社を選んでいただくために提案したものでございます。</p> <p>ではまず、標準服とはどういうものかと申しますと、例えば30年前、40年前に見ていた標準服、今でもその形が続いている学校さんはいくらでもありますけれども、そのころの標準服と、今の標準服がどこが違うかと言いますと、まずは大きく進歩したのは機能性です。素材そのものがものすごく進歩しています。</p> <p>あと、デザインです。何十年前の例えば中学生のデザイン、高校生さんのデザインというのは画一化されてございましたけれども、今の時代は公立の学校様でもその学校様の個性とかアイデンティティを表現するものをご提案してもらいたいという要望をいただいております。その学校にしかないオリジナル性であるとか、地域に合ったもの、地域に溶け込んだもの、さらに中学生らしいものでないと、高校生とは区別ができないというところから、各社、しのぎを削って研究しているところでございます。</p> <p>まずは、オレンジ色のネクタイのほうのデザインから簡単に申し上げます。なぜオレンジを選んだかと言いますと、下調べで高円寺のまち歩きを何度もさせていただきました。街の方にお声をかけてアンケートなども採って、「高円寺の街というのは色に例えたらどういう色ですか」という問いに、圧倒的にオレンジに票が入りました。ほかの地域でもこういった色の調査をするのですが、非常に珍しいです。オレンジはめったに票が入りません。桜の有名な地域では、ピンク色に入ったり、あるいは海が近いとか大きな川がある地域は、水を表現するブルーが入ることはあるのですが、これだけオレンジが票を得たというこ</p>

とで、オレンジを使わなくては、ということになり、このとおりオレンジが入っております。

また、杉並区には、あちこちに何十と商店街がありますけれども、フラッグが立っていると思います。あの色が実はオレンジ色なんです。いろいろ調べたのですけれども、昔、中央線がオレンジ一色の電車でしたので、多分、中央線のオレンジが一番の要因ではないかと思いました。

あとは、高円寺の街そのものが、温かい街として、いろいろなバラエティ番組でもタレントの方が絶賛しています。少ないお金でおいしいものがいたりとか、いろいろな人たちが住んでいらっしゃるしやったりとか、芸術が盛んであったりとか、そういう意味でもオレンジがふさわしい色ではないかなと思いました。

今度はブルーの標準服について申し上げます。ブルーの色がどこから出てきたのかといいますと、高円寺中学校の阿波踊りのときの法被が何十年も前からずっとブルーであったというところに着目しました。その法被のブルーを新しい高円寺学園の中学部のイメージカラーにしようと思ったというのが一番の基礎になりました。

あとは、スカートのデザインや柄は数えきれないほどありますけれども、可愛いものをつくれればいい、派手なものをつくれればいいというだけでは標準服になりませんので、オレンジのイメージが示すもの、ブルーのイメージが示すものを踏まえて今回はこの生地を選んだということになります。

次は機能性について申し上げます。どういうところが30年前、40年前と大きく違うかといいますと、まずウールが入っていても洗濯機で洗うことができるということです。

それから、ストレッチ性。横が伸びる。見本の標準服、両方ともストレッチ素材なのですが、こちら側のオレンジのジャケットについては非常に伸びる素材を使っております。また、表地だけではなく、裏地のツイルも場所によっては伸びる生地を使っております。また着ていただいて伸び具合をあとで体験していただければと思います。

あと、安全面も考えています。こちらのボタン、後ろのスリットのところ、袖のところには、反射素材がついています。懐中電灯で当てて見ていただくと、再帰反射なので、当てられた方しか光が戻らないのですけれども、光ると思います。再帰反射なので車のヘッドライトに反射して、ドライバーに知らせるようになっていきます。こういった安全への配慮もされた製品になっています。

また、女子生徒の上着はポケットが少なく、大事なものを入れるところがなかなかないのです。ですけれども、こういった腰のところに、こんな大きいものがすっぽり入るポケットがあります。こういう細かい、生徒さんが生活する上でも、動きやすかったりとか機能的であったりするものをたくさん揃えています。

次に夏服ですけれども、特徴的なのはこちらのブルーのポロシャツです。

	<p>男子の方はこういった伸びるシャツです。また、女子の方も同じ素材を使って、今の高円寺中学校のセーラー服を彷彿とさせるデザインにしています。セーラー服ではないプルオーバーの被り物ですけれども、こういうデザインにさせていただきます。</p> <p>デザインの的にはこういったところです。</p> <p>新しい学校の校章とか、それからロゴマークが決まりましたら、教えていただければ、そういうものをベースにしてボタンをつくったりとかエンブレムをつくったりとか、あるいは刺繍を入れたりとかさせていただこうと思っております。</p> <p>デザインについては以上でございますので、ご質問をいただければと思います。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、何かご質問やご意見がございましたら、お願いいたします。</p>
トンボ	<p>例えば色ですとかデザインですとか、自由にご意見をいただければと思います。</p>
会長	<p>こんなのにしてほしいなんていうご希望があれば、委員の皆さんからお話いただければと思います。</p>
委員	<p>多分、男の子はズボンの裾を伸ばすと思うのです。かなり成長するので。反射する部分というのは、ズボンの裾の部分もありますが、この部分はずれるのですか。</p>
トンボ	<p>今回、反射素材を入れたのは、ブレザーの袖のボタンをつけている場所とベントのスリットのところになります。ズボンにはついておりません。袖のところは、ここはそのまま伸ばすことができますので、特に問題はないです。</p>
委員	<p>女子のオレンジのネクタイをちょっとリボンに変えてみていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>(リボンに変更)</p> <p>リボンのほうが私はかわいいかなと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>男の子のネクタイは、簡単に付けられるワンタッチのものですか。それとも結ぶものですか。</p>
トンボ	<p>今回つけているのは、結び目がついておりますけれども、こういったテープを使ったワンタッチ仕様のものであります。本当に引っかけるだけのものもございませし、そういう仕様にもできます。</p>
委員	<p>慣れないと、朝忙しいとなかなか結べないですね。ワンタッチなら簡単にできますよね。</p>
委員	<p>サイズ構成についてはどういうふうを考えているのですか。</p>
トンボ	<p>既製品ですので、例えばS、M、Lを中心にして、その上、その下、それから太いタイプ、お袖だけ長いタイプとか、サイズは豊富にございます。サイズに合うお洋服がないということはまずあり得ないですし、万が一合わないとい</p>

	う場合には、私たちはオーダーメイドでお作りします。別寸と言っているのですけれども、一番大きいものでも、まだ入らない場合はその方に合わせてお作りしておりますから、ご心配ないと思います。
教育施設計画推進担当係長	成長したときの、サイズ直しの話も少しお願いします。
トンボ	サイズの補修の場合も、例えばお袖が3センチで、ズボンは裾から8センチ伸ばせるというのが基本的な仕様です。オプションで中に入っているのですが、脇を伸ばしてアームホールとバストを6センチ大きくする仕様もつくることができます。ただ、縫製工賃はプラスαになるので、金額的には少しアップしますが、そういった仕様でお作りすることもできます。
委員	この標準のもので、大体おいくらぐらいなのですか。
トンボ	今まで、コード服装さんが主に販売されていたお値段とほぼ一緒か、あるいはサイズによっては少し安い部分もあるぐらいです。基本的にはデザインが変わっても、その前の標準服に準じるような値段で提供しています。良いものにしたから高くなってしまったということのないように配慮させていただいております。
委員	夏服で今、ポロシャツとセーラータイプのシャツをご紹介いただいたのですが、これは学校側の考えとして、夏服の上着、シャツを指定するのでしょうか。指定するとなると、夏だと多分、4、5枚ぐらい持っていないと回せなくなると思います。そうすると費用面で困る方が出てくると思うのですが、その辺りはどうなのでしょう。
会長	今のところ、夏服については、ジャケットを脱ぐだけみたいな感じがいいかなとは思っていますが、そのあたりも委員さん方と協議していきます。
委員	承知しました。
委員	ネクタイはワンタッチ式と普通のもので値段は結構変わるものなのですか。
トンボ	ワンタッチ式のほうがネクタイ屋さんが二次加工をしなければいけないので、二次加工の工賃の分だけがプラスになって、少し高いと思います。
会長	ネクタイのある中学校に行ったことがあるのですが、式典以外は大体してこないですね。
トンボ	多くの公立中学校は、普段はノーネクタイ、ノーリボンで指導されていて、大事な日には必ず着けてきてくださいとしている学校が多いと思います。
会長	その辺も、この後検討していきたいと思います。 ほかに何かご要望も含めて、ございましたら、今伺っておければと思いますが。 特に今ないようであれば、検討部会の委員さんも何人かいらっしゃいますので、その方に伝えておいていただいて、検討部会のほうでそういったご意見を集約していければと思っております。ありがとうございました。 それでは今後、皆様方からいただいたご意見をもとに、どんな標準服にして

	<p>いくかというところについて相談をしていければと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
トンボ	<p>貴重なお時間をありがとうございました。 (トンボ 退室)</p>
会長	<p>次第の2番目でございます。「通学区域について」に移りたいと思います。 前々回の会から高円寺学園の通学区域について、ご意見をいただけてまいりました。本日も学務課長がいらしていますので、ご説明をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
学務課長	<p>皆さん、こんにちは。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。今日、通学区域の関係の説明を私のほうでさせていただきたいと思ひます。</p> <p>資料2と別紙に、7月、11月に出してきた資料を参考にさせていただく意味で、つけさせていただきます。</p> <p>今日は、この資料2に書かれている内容に沿って説明をさせていただければと思ひております。</p> <p>通学区域の指定ですが、32年4月の高円寺学園の開校に当たっての通学区域の素案を、7月の懇談会でお示しさせていただきました。その後、保護者説明会等でいろいろなご意見等をいただきました。そういったものを踏まえて、このたび新たな指定通学区域、それから特例措置の案を取りまとめたので、今日、ご報告をさせていただきます。</p> <p>1番目の「指定通学区域(案)」ですが、7月から説明させていただいていますが、杉並第四小学校、杉並第八小学校の通学区域を合わせた区域にしていくということです。</p> <p>2番目の「指定通学区域決定の時期」ですが、これは31年6月に決定と書かれております。32年4月の開校で、その前年の9月頃に就学の健診の案内とかを出しますので、9月前に決めなければならないためです。</p> <p>学校の設置条例とか、そういったものを議会で議決をしなければなりません。第2回定例会という議会が6月頃にあるので、今年の6月に決定をするということで考えております。</p> <p>資料の※印で書かれているのは、特例措置を決定しますということです。平成28年度に開始した通学区域の特例措置というのを基本として、新たな特例措置を設けていくということです。新校開校後3年間、児童・生徒の就学実態や、隣接する小中学校の児童・生徒数、学級数の推移をもとに、検証を行っていきます。平成31年6月に決定しますが、その後の推移をきちんと見ていくということをごちからで謳っております。</p> <p>3番に書かれています「説明会等の経過」ですが、こちらは、7月、8月にわたって懇談会、中央地区町連、北地区町連で説明させていただいたり、9月15日は、保護者説明会を午前1回、午後2回行わせていただいたりしました。</p> <p>こちらの参考資料の最初にある資料3と書かれているカラー刷りのものが7月に出させていただいた資料です。11月9日と書かれている方が前回お出しさ</p>

せていただいた、各会でいただいた意見のまとめで、区の今後に向けた考え方というところを書かせていただいたものになっております。

こういったいろいろな意見をいただいたところで、通学区域を先ほど申し上げたように指定します。特別措置は、今までも設けていましたが、引き続き新たな特別措置を設けるということで、中学校を選択できるようにいたします。指定校はありますけれども、他の学校を選択できるというこの特例措置は、懇談会とか説明会とかでいただいた意見、要望を反映させた特例措置です。

それから、その意見の中で注視しなければいけないということで（２）に書いてありますが、「小中一貫教育の考え方に基づいた住所要件によらない在籍児童への配慮」をこちらのほうで考え方として整理しております。

今、言葉で申し上げても、なかなかわかりづらいところもあるので、そちらの内容について、別紙を用意させていただいています。別紙を見ていただきたいと思います。

わかりづらい部分もありますが、この杉四小、杉八小のある青で囲まれた部分、A1、A2、Bと記載されているところが今回の新しい通学区域として指定するエリアになります。そちらのエリアについて、別表第4で、4つほど特例措置の内容を書かせていただいております。

1番目と2番目については、これまでもBのエリア、それとCのエリアというのは特例措置を設けてきたエリアです。今回新しく指定校というのが変更になりますので、それを踏まえた内容で特例措置ということになっております。

具体的には、Bの地域というのは新しい私どもの案でいくと、小学校が高円寺小学校と、高円寺学園の小学部というところで新校になります。それから中学校は高円寺中学校（新校）というところになります。

ただ、小学校から中学校に上がるときに、高円寺中学校ではなくて高南中に行きたいという要望がこのBのエリアであれば、高南中への入学に配慮していきます。Bエリアにお住まいであれば、人数等の制限なく、基本にご希望に沿った形で対応していくということです。

また、小学校に入学するときですが、これまでは杉三小と杉十小に配慮するということだったのですが、西側のエリアだと杉六小も隣接していて、杉六小に行かれているお子さんもいらっしゃるということで、今回新たに杉六小を特例措置の内容として加えさせていただいております。

次に、杉三小の北側のCのエリアですが、こちらのほうは指定校としては、小学校は杉三小です。中学校が今度、高南中になるということで、距離がちょっと遠くなります。そこで特例措置の内容として、高南中ではなくて高円寺中（新校）に入学したいということであれば、そちらに行っていただくという形と、それから杉三小ではなくて高円寺小学校にという希望があれば高円寺小学校への入学に配慮していくというような内容になっております。これは今まで、BとCのエリアでやっていた特例措置を、新しい通学区域に合わせた形で内容を変更させていただいたということと、新たに杉六小を選択肢として増やさ

せていただいたというところになります。

3番目に書いてあるのが、今回新たにというところで、在校生についてです。A2とBのエリアにお住まいで杉八小に通っている31年度在学の1年生から5年生は、新校が開校するときに高円寺小のほうに行っていただくという形が前提なのですが、開校時点で希望ができるということです。希望・意思表示といえますか、高円寺小学校ではなくて杉三小に行きたいのだと、杉六小に行きたい、杉十小に行きたいということがあれば、一旦、開校するときに、そういった選択もできるような形をとるのがこの3番ということになっています。

新たな特例措置で、特筆すべきところが一番下に書いてあるところです。今現在、杉四小とか杉八小とかに通われているお子さんで、指定校変更の「特色ある学校」ということでこの学校に行きたいという希望を出してエリア外から通っているお子さんがいらっしゃいます。そういう方は、高円寺小学校にはそのまま行くことはできますが、その後、中学に上がるときに、「お住まい的というと阿佐ヶ谷中学校のエリアだから、中学は阿佐ヶ谷中学校に行ってください。」ということになると、私どもは小中一貫教育といって、この学校を推進しているわけなので、矛盾が出てしまいます。エリア外から小学校に入っているお子さんについても、その後、自動的に高円寺中学校に行けるというところを加えさせていただいております。

これは今先行している杉並和泉学園とかでも、ほかのエリアから小学校に入ってきているお子さんが、その杉並和泉学園の小学部から今度中学部に上がるときに、また何かそこで作文を書いたりとかして、特例措置で入るといのはおかしいということもありまして、今後、そういった小中一貫教育の施設一体型の学校であれば、小学校に入った時点で、エリア以外の方も中学校にそのまま行けるといいう形で対応していきたいという内容が、ここに書かれています。

通学区域の指定、それから決定時期、新たな特例措置というようなことは以上の形になります。

今後ですが、この案に基づいて、1月28日にある教育委員会に報告をするということと、2月に始まります議会、第1回定例会というのですが、そちらの文教委員会という我々教育委員会の所管の委員会がありますので、そちらで報告をします。

6月に第2回定例会での学校設置条例の改正、それに合わせて指定通学区域を規則改正するという手続をするのですが、この懇談会でも通学路を実際に回ったり見てきておりますので、5月とかの時点でそういった内容をもう1回確認して、通学路について調整をしていきたいと考えているところです。

32年の高円寺学園の開校の時点で、今お示しした新特例措置を開始していくということを考えておりますが、この別紙の裏に、参考として、指定校変更の6号とか7号とかの記載があります。要するに、指定校が希望する学校の2倍ぐらいの距離があるなどの事由は6号なのですが、7号というのが、例えば中学校で言えば、指定校の部活には陸上部がないから、隣接する陸上部のある学

	<p>校に行きたいというようなことが指定校変更の事由になります。特色ある学校に行く希望を叶えるために7号というのがあるのですが、下の表が現在の各校の隣接校をお示ししています。</p> <p>上の高円寺（新校）と書かれております表が、今後のそういったところを整理した表になっていますので、隣接する学校などを参考に見ていただければと思っております。</p> <p>あくまでも、今日、私が説明させていただいた通学区域というのは、通常学級の指定の通学区域になっております。</p> <p>そういったところで、ご議論をいただければと思います。私の説明は以上になります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま通学区域につきまして、ご説明いただきました。何かご質問等ございますでしょうか。</p> <p>では、ご意見も含めてお伺いできればと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ご説明ありがとうございました。今度新しく入っていく児童やその家庭に関しては非常に配慮しているなど感じられました。</p> <p>前回、意見させていただいたと思うのですが、そもそもこの通学区域に関しては、この計画が出る前に準備会というのがあって、その準備会の中で、教育委員会に対してされた報告の資料の中では、当初は杉四小、杉八小の通学区域と高円寺中学校の通学区域がちょっとずれた形の考え方だったと思うのです。</p> <p>それをさまざまな意見等を集約した中で、今回、新しく現杉四小、現杉八小の通学区域を中学校と同一の通学区域とするということは、小中一貫教育というのを重視したというお考えであるかなと思っております。</p> <p>そういう通学区域を定めるということに関しては、もう十分、地域の方々のご意見も聞いた中で、今回提案をされるということなのかどうかというのを、再度確認させていただきたいのが1点。</p> <p>あと、Cの地域の特例措置で、杉三小の通学区域であるけれども、高円寺学園への就学が認められるということで、多分、ここの地域が一番、少し変動があるのかなと思っております。</p> <p>前回、区の考え方の中で、就学実態を一定程度見極める必要性を考慮して、特例措置を続けていきますという考え方があったと思うのですね。つまり、この特例措置を3年間定めることで、その動向を見て、再度、通学区域の変更を考えられているのかどうか。そこははっきり明確にさせていただきたいと思えます。前回も意見しましたがけれども、特例措置を選ぶ人たちをサンプルとしてとって、通学区域を定めてもらいたくないということなのです。あくまでも、さまざまな地域の意見も聞きながら、新通学区域を現在の杉四小、杉八小の通学区域としましたということをお答えさせていただきたいなということ。実際に通われるお子さんたちに配慮しての特例措置だということであるのかどうか。その確認をさせていただきたいと思えます。</p>

学務課長	<p>まず、ここに到達するまでには、10年近くですか、その議論を踏まえているところですか。この懇談会以外のところでも行われてきたことの内容なども踏まえた上で、今回、新校の通学区域を指定をさせていただいたというところで、間違いのないところです。</p> <p>今回、指定通学区域として、議会にかけて31年6月に決定をすることになります。決定はしますけれども、この地域の状況を踏まえた、今までやってきた特例措置だとか、そういったところに一定の配慮をしなければいけませんし、こういったことが決まる前に、杉四小、杉八小に在籍しているお子さんをどうするかというところを十分検討し、考慮したのが今回の案になっています。</p> <p>資料2の「2 指定通学区域の決定時期」のところに、※印でただし書きを書いてありますが、これは1年だとなかなか分からないため、3年かけて、その状況をきちっと見たいというところが趣旨でございます。ですが、これは暫定の指定通学区域とかいうことではなくて、31年6月に指定通学区域として指定をします。</p> <p>ただ、これがそのままいいのか分からないですから、やはりきちんと就学実態を踏まえて、隣接する学校の状況を踏まえた上で、このような皆さんと議論をする場を設けながら検証をしていきたいというところです。</p> <p>その状況によって、見直す必要があるのか、もっと違う方向性があるのかというところは、今の時点では何とも申し上げられないので、私どもとしてはきちんと推移を見守っていききたいというのが今考えているところです。</p> <p>なので、3年間の暫定的な考え方でとかいうことではなく、あくまでもこの10年近くかけて議論をしてきた中で、さまざまなご意見等を踏まえて教育委員会としてまとめたのが今回の案です。こちらのほうで開校に合わせて始めさせていただいて、そのあと、そういった検証をします。7月に学校の生徒数や児童数を出させていただいていますけれども、それが本当にそうなるかどうか分からない状況があります。あくまでも推定です。なので、そういったところを皆さんときちんと共有して、今後のことを考えていきたいと思っております。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、今、通常級の通学区域ということでお話があったのですが、高円寺学園には知的の特支学級が設置されるかと思えます。特支の場合、私もよく理解していないのですが、通学区域というのがどうなるのでしょうか。</p> <p>また、高円寺学園の特支学級は小中一貫、特色ある特支学級の設置になるかと思えます。入学を希望されるご家庭に対して、配慮というものをお考えなのかどうかをお聞かせいただけますでしょうか。</p>
特別支援教育課長	<p>特別支援学級のお話でございますので、私のほうからご説明させていただきます。</p> <p>本日は通常級の資料が皆様のお手元にあるかと思えますが、混乱してもいけないかなと思ひまして、今回は私どもの資料はお配りしておりませんので、口頭でご説明させていただきたいと思ひます。</p>

	<p>新たな高円寺学園の特別支援学級の通学区域でございますが、小学部につきましては現在の馬橋小、杉三小、この一部が高円寺学園の小学部の通学区域になります。具体的には馬橋小の東側の区域と、杉三小の特支学級の北側の区域を合わせた形になります。</p> <p>中学部のほうは、阿佐ヶ谷中学校の通学区域の大体東側の3分の1ぐらいの地域になります。この辺のことにつきましては、当該の特別支援学級の保護者の皆様には、11月下旬から12月中旬ぐらいに保護者会がありましたので、杉三小と阿佐ヶ谷中のほうにお邪魔して、ご説明させていただきました。</p> <p>馬橋小のほうはその時期に保護者会の開催がないということでございました。ですが、馬橋小の特別支援学級の通学区域のうち、新たな高円寺学園の通学区域になるのはかなり小さいエリアということもあわせて、現在、該当される方が1名だけだったのです。そういうことで、直接その方にはご説明をさせていただきました。また、保護者会にご欠席になった方とか、馬橋小学校のその他の保護者の方には、別途お手紙を差し上げているところでございます。</p> <p>説明した内容なのですが、通学区域を地図にしたものと、先ほど通常学級のほうもありましたけれども、経過措置を設けているというところをまとめたものを配布してございます。</p> <p>経過措置につきましては、32年4月に高円寺学園ができたときには高円寺学園の生徒になっていただくというのが原則ではありますが、今いるお子さん方がやはり今の学校にいたいというのは当然ある話なので、それぞれの杉三小、馬橋小、阿佐ヶ谷中の特別支援学級をご卒業するまではそのままいていただいて大丈夫であるというものでございます。</p> <p>その意向調査を今年7月から行うことにしております。現在、実際にいらっしゃる保護者の方々に高円寺学園ができたときにはどうされますかという意向調査をしようと思っております。そして、その調査の回答の締め切りを11月にしたいと思っております。というのは、9月から新たな校舎ができますので、そこで体験学習などの取組を行います。そういったことも経験していただいて、実際に高円寺学園に入られるかどうかということの意向を固めていただきたいと考えております。</p> <p>そういったことをご説明させていただいたのと、実際に高円寺学園になりますが、距離の問題だとか、他にもさまざまな課題を持っているお子さんたちです。そういったさまざまな事情については就学支援相談のほうでいろいろとご相談を受けながら、丁寧に対応していくというご説明をさせていただいております。</p> <p>そういったことを保護者会等でご説明させていただきましたが、特段、否定的な反応はなかったということをご報告させていただきます。</p>
委員	<p>今、経過措置というお話がありましたけれども、これは特例措置は今後も定めていかないということでしょうか。特別支援学級ですから、当然、希望される方々には、いろいろな特性があると思います。そういった方々に対しては、</p>

	合理的配慮をもって対応していくということで理解してよろしいですか。
特別支援教育課長	はい。その点は今も実際にやっているところがございますので、今の対応をしっかりと丁寧にやっていくということでございます。
委員	<p>今、話が特別支援学級のほうに行ってしまったのですが、通学区域の話を見せていただきます。一番重要な話なのですが、7月と11月に皆さんここで議論をしていただいて、11月のときに、私も意見を言わせていただいたのですが、通学区域を本当に今ご提案いただいたものでいいのかどうか。特例措置ということではなくて、通学区域を本当にもう一度見直すことはできないのかということをお話をしました。それに対して、そのときご回答をいただいているのが、必要であれば勇気を持って通学区域の変更も視野に入れているというニュアンスのお話を確かいただいています。</p> <p>それについて、通学区域の変更は本当にできるのかできないのかについての検討をどのようにしていただいたのか、それをお聞かせいただけるとありがたいと思います。</p> <p>なぜかといいますと、この懇談会の前身の準備会の時点から、この通学区域の問題というのは当然起きてくるということで、長い間ずっと議論してきた話なので、昨日今日出てきた話ではない。もう何年もかけてやってきていると思うので、最終的に結論を出されるに至って、C地区とB地区の問題、両小学校の通学区域と、高円寺中の通学区域のどちらを選択するかという問題。それについてどういう最終的な検討をしていただいたのかをお聞かせいただきたい。</p> <p>それともう1つは、特例措置です。先ほど平成34年、2022年までであるので、その時点でもう一度検証しますという、すごく心強いお言葉をいただいたのですが、その時点になると、この懇談会も解散してしまっていないと思いますし、どういう場所でどういうふうに検証した結果を実際に検討していくおつもりなのか、その辺をお聞かせいただければありがたいのです。</p> <p>2点お願いいたします。</p>
学務課長	<p>ご説明さしあげてきたとおり、通学区域の変更というのは、今回の新校の開校に合わせるタイミングで進めているところです。通学区域の変更というのは、いろいろな地域の実情だとか、実態だとかということで、これまではあまりやってきてはいないのですが、昭和60年ぐらいに通学区域の変更をやったところはあります。</p> <p>例えば、就学の実態といったところを踏まえて、このエリアの通学区域を変更していきますということは、手続的には、地域の合意だとか学校との調整などで、妥当だという判断があれば、通学区域の変更というのは今回と同じような形ですることは可能かと考えております。</p> <p>ただ、私どもとして、今回この結論を出すのにはそれなりの、10年という期間の中で、いろいろ地域の中で議論してきたところで、一定の方向性というか、こういう形で高円寺学園は行きますとなったものです。</p> <p>これまでも説明してきていますが、小中一貫教育を推進するための連携校と</p>

	<p>いうグループがありますので、そちらを推進するという区の立場をきちんと明確にして、議論を踏まえた上で今回の杉四小、杉八小の通学区域を新通学区域にするとした経緯があります。</p> <p>あくまでもこの方向で決定させていただく前提ですから、見直しありきというところでのこの案を出させていただいているということではありません。今までの長い検討とか、皆さんのご意見を踏まえた上で出させていただいた結論が、今この通学区域ということになっているところです。</p> <p>ですから、特例措置もあくまでも指定通学区域の暫定的な措置ですから、これがいつまで必要なのかという話も出てきます。ずっと必要なのであれば、本当に通学区域を見直す必要性が出てくるとかということもありますから、そういったことを含めて、この3年間とかそれ以降も検証を行っていく必要があると考えています。</p> <p>議論の場については、まだ今、懇談会がありますが、今後はどういう形がいいのかということはまだ事務局のほうでも整理はできておりません。何かしらこういった形で、また皆さんにご参加いただいて議論をするような形は必要かなと思っています。それはまた追々お示ししたいと思っております。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>この懇談会自体は開校までは定期的に関わりたいと思いますが、開校前には終わりという形を今考えております。</p>
委員	<p>もう1点だけ。</p> <p>今、検証というお話しがあったのですが、それはあくまで子どもがどの学校に行きたいという希望を持っているかで通学区域を定めるということではなく、隣接する学校の適正規模も考慮していかなければいけないと思うのですね。各々の公立学校ですから、そういった適正規模の確保というのは常に念頭に置いておいていただきたいと思います。以上です。</p>
学務課長	<p>個別の学校の状況だけではなく、高円寺地域の全体の状況を見た上で議論をしなければいけません。それは最初の議論でもそういったところから始まっていますので、今回の新しい学校ができた後も、その考え方は踏まえていきたいと思っています。</p>
会長	<p>わかりました。</p> <p>ほかにご意見がなければ、通学区域については終わってよろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第3にまいりたいと思います。その他になりますが、事務局からお願いできますでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>2つご報告させていただきます。</p> <p>1つが参考資料で、校舎の図面が載っているものがお手元にあるかと思えます。これは以前、一度お話を差し上げましたけれども、校舎の校名表示です。学校や設計会社等と打ち合わせをしまして、このような形で表示をしたいと思っておりますので、お配りさせていただきました。</p> <p>横書きになっているものが、北側から見た校舎です。縦書きになっているもの</p>

	<p>のが南側、JRのほうから見えるものです。杉並区立小中一貫教育校という表記と学園章が入って、高円寺学園という形にしております。</p> <p>色はステンレスの素材の、銀色っぽい色になります。学園章の部分は、これは今、黒で塗られていますけれども、実際にはステンレスの銀のまま、学園章の裏の部分の部分を少し黒くすることで、見やすい形になるということで考えております。</p> <p>若干、目地とかの関係もあるので、この図面ぴったりというわけではありませんが、おおむねこのようなイメージでということで、ご理解いただければと思います。</p>
会長	<p>それでは、校名表示につきまして、今ご説明をいただきました。何か質問がございましたらお願いします。</p>
委員	<p>位置なのですが、裏面の縦のほうは線路のある高架側ということでよろしいですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>そうです。電車から見えるほうが縦です。</p>
委員	<p>横のほうは、北側ということは環七側に見えるのではなくて、校庭から見えるみたいな感じですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>校庭から見えますし、環七側ではあります。ただ、どうしても角度がありますので、環七側から見ると言っても見上げる形になると思います。</p>
委員	<p>高円寺駅から降りて学校に向かうときには、両方とも見えないということですよ。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>そうですね。窓ガラスとかがあって、西側につけるのが実際難しいためです。</p>
委員	<p>無理なお願いかもしれませんが、夜暗くなっても電車から見えるように校章だけでも光らないですかね。</p> <p>イメージ的には「座・高円寺」です。「座」だけ光っているのですよ。それをやっていただくと統一性が持てると思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>「座・高円寺」の場合は南側に家がないのですけれども、こちらですと近いところに家があってそれは難しいかなと。</p>
委員	<p>あくまでも要望ですが、目玉になるのではないかなと思います。</p>
会長	<p>というようなご要望もあるようでございますが、ほかはいかがでございましょうか。</p> <p>それでは、校名表示については事務局からのご提案のような形で行くのではないかなと思います。よろしく願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>次第には載せていないのですけれども、お手元に「新しい学校づくりニュース」があると思います。これはまだ配布前のものです。しばらく時間があいてしまったのですけれども、学園章と学園歌を紹介する内容のものを配ろうと考えております。ただ、まだ出来上っているわけではなくて、できれば学園歌の楽譜</p>

	<p>を載せた形でやりたいと思っています。概ねこのような形で学園章や学園歌を地域の皆さんにご報告するというところで考えています。最後「1月発行」になっていますけれども、2月・3月にかかってしまうかなというところでもあります。こういったものを今年度中に配布することを考えております。これは皆さんにご報告でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。「新しい学校づくりニュース」第6号でございますが、学園歌の楽譜等が入った形で現在制作中というところでございます。</p> <p>何かご質問、ご意見ございましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>学園章の色について「えんじがかかった赤色です」という説明が入っているのですが、これは決まったのですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>以前、カラーのものをお見せしているかと思うのですが、色は決定していません。</p>
委員	<p>学園のイメージカラーみたいなのも、えんじがかかった赤なのでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>イメージカラーをつくるかどうかという話とは別になりますが、学園章の色としてはえんじがかかった赤色ということになります。</p> <p>いろいろなものに使っていく学校のカラーというのは、別に例えば青だったり水色だったりというものであっても差し支えありませんけれども、学園章の色としてはえんじがかかった赤ということです。</p>
委員	<p>色にこだわっていて申し訳ないのですが、見本を見せていただいて、そのときに、皆さんの中でえんじ色がいいよねという話で決まったのか、それとも、皆さんのご意見を聞いて、教育委員会のほうで「では、えんじにしましょう」になったのか、そこがちょっとどういう流れだったか教えていただけますでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>学園章のデザインをした先生からご提案いただいたものを、学校等と相談しまして、ご報告のような形で以前、懇談会でお話を差し上げました。</p> <p>もちろん黒とかでも表示ができるのですが、色としてはこの赤というか、えんじといたしますか、こういう色です。</p>
会長	<p>それでは、「新しい学校づくりニュース」第6号につきましては、以上でよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>では、最後になりますが、次回の懇談会についてご相談させていただければと思います。</p> <p>(日程の調整)</p> <p>ありがとうございました。最後に部長からご挨拶があるようです。</p>
学校整備担当部長	<p>年の初めといっても、もう1月20日を過ぎましたけれども、今年もよろしくどうぞお願いします。</p> <p>本日も活発なご議論を本当にありがとうございました。また、工事のほうも現場に問い合わせますと、ほぼオンスケジュールでございまして、7月の竣工</p>

	<p>には間に合うというところにきてございます。子どもたちの期待も大きいと思いますので、滞りなく、しっかりと、立派な校舎をつくり上げるということが重要だと思っているところでございます。</p> <p>それから、先ほど通学区域の活発なご議論をお聞きして、本当に思うのは、我々教育委員会の仕事というのは新しい高円寺学園をつくることだけではないなと思いました。高円寺にあるほかの小学校、中学校にもしっかり目くばせをして、いい学校にしていく。高南中、杉十小、そして何よりも杉三小ですよ。そういった学校にもしっかり対応して、いい学校にしていくということがすごく重要だなと。この場は、高円寺学園をつくる懇談会ですけれども、今日はあえてそういうお話を申し上げたいなと思っています。</p> <p>当然、教育委員会一体となって、あるいは区の財政部門ですとか、さまざまな区長部局の機関ともしっかり連携をとって、立派な学校にしていくということをこの場でまた申し上げたいなと思います。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上を持ちまして本日の懇談会を終了させていただきたいと思えます。本日はありがとうございました。</p>